



カテゴリ: サステナビリティ

2023年12月27日
第23096号

国内航空会社として初となる、「TNFD Adopter」に登録

日本航空株式会社(代表取締役社長:赤坂 祐二、以下JAL)は、国内航空会社として初めて、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD:Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)^{(*)1}の採用者であるTNFD Adopter^{(*)2}に登録しました。

2023年3月にTNFDフォーラムに参画し、2023年8月には国内航空初となる、[TNFD提言に基づく情報の先行開示](#)を行いました。今後は本年9月に公表された最終提言に基づき、更なる情報開示の充実に努め、志を同じくする早期採用者のみなさまとともに、ネイチャーポジティブ^{(*)3}の実現に向けた取り組みを加速してまいります。



(育成棚での中間育成のサンゴ)
[2020年9月9日\(JTAプレスリリース\)第20046号](#)
[「有性生殖・サンゴ再生支援」活動の開始](#)



(地元小学生による植林(2021年))
[2023年9月19日\(共同リリース\)奄美大島の宇検村・上智大学・伊藤忠商事・JALの4者が環境保全・地域振興に関する産学官連携協定を締結](#)

JALグループは、豊かな地球を次世代に引き継ぐため、違法な野生生物の取引防止による種の保全、植物防疫を通じた生態系の維持、世界自然遺産における自然資源の保全など、積極的に推進してまいりました。

今後もネイチャーポジティブの実現に向け、従来の取り組みを更に加速させるとともに、事業活動を通じて自然と人が共生する社会の構築を目指し、取り組んでまいります。

※1 自然環境や生物多様性への影響を評価し、情報開示する枠組みを提供する国際イニシアティブ

※2 最終提言に基づいた開示を2025年度もしくは2026年度までに行うとした企業・団体のこと。登録した企業は2024年1月の世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)において発表される予定。

※3 [生物多様性の損失を止め、自然環境を回復軌道に乗せること。](#)

以上